

平成17年2月9日  
電気化学工業株式会社

## 「粒状石灰窒素40」ご使用の方へのお知らせ

本年2月9日付で、「粒状石灰窒素（農林水産省登録17051号 軍配印粒状石灰窒素40）」が適用拡大になりました。

これに伴い、野菜類・豆類（種実）・いも類の一年生雑草防除、センチュウ類防除にお使いいただけるようになります。

農薬としてご使用になる場合には、必ず適用作物、内容の範囲でお使いください。

詳細は次ページをご参照ください。

**なお、次ページの記載内容はラベルとしてはご使用になれません。購入した販売店で表示変更ラベルを入手してください。**

[問い合わせ先] 肥料事業部

## 軍配印粒状石灰窒素40 農林水産省登録 第17051号

平成17年2月9日付けで、下線部分が適用拡大になりました。

### 適用病害虫と雑草(効果と使い方)

\*「野菜類」には豆類(未成熟)が含まれます。

作物名	適用病害虫(雑草)名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	石灰窒素を含む農業の総使用回数	作物名	適用病害虫(雑草)名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	石灰窒素を含む農業の総使用回数
水稻	ユリミズ	40~60kg/10a	は種前 又は植付前	1回	散布後土壌混和	-	れんこん	スクミリンゴガイ	60~100kg/10a	植付前	1回	散布後土壌混和(7日間以上放置後植付を行う)	-
	ザリガニ	20~30kg/10a	植代前				野菜類	センチュウ類	50~100kg/10a	は種前又は 植付前		散布後土壌混和	
	スクミリンゴガイ		刈取後 (水温15℃ 以上の時期)				畑地一年生雑草	50~70kg/10a	散布			散布	
	水田一年生雑草		は種前 又は植付前										
	ノビエの休眠覚醒 (湿田及び半湿田)		40~50kg/10a				水稻刈取後 1週間以内	散布 散布後2週間の平均 気温が18℃前後の地帯。 (北陸)	桑			カイガラムシ類 胴 枯 病	

### 使用上の注意

- ① は種又は移植に当り暖地では3~7日前、寒地では7~10日前に施して土とよく混ぜること。
- ② 農薬として使用の際は、肥料として窒素過多にならぬよう、窒素肥料全体としての使用量に注意すること。
- ③ 雑草防除のときは、田畑共耕起の前に施し、耕起しない田では刈り取り後に施すこと。
- ④ 使用するとき、他の作物にかからぬように注意すること。
- ⑤ ノビエ種子の休眠覚醒に使用する場合は、下記の注意を守ること。
  - 稲刈り取り後、落下ノビエ種子が乾燥前(土壌湿潤状態中)に石灰窒素を散布すること。
  - 石灰窒素の主成分シアナミドが溶解し、ノビエ種子に吸収でき得る水分を有する圃場であること。  
(稲刈り取り後の地下水位10~20cm地帯)
  - 石灰窒素により処理されたノビエ種子が、覚醒発芽し得る温度(平均温度15℃以上)を15日以上保てる気温の地帯であること。
  - 4~5年連用することによって効果を確保する。
- ⑥ 桑に使用する場合は、本剤を所定量の温湯に加え十分に攪拌し溶解させた後、その上澄液を株又は枝条の基部に十分散布すること。
- ⑦ 吸湿により粉化するため、保管する場合は乾燥した場所に保管し、開袋後は速やかに使用すること。
- ⑧ 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、農業改良普及センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。